

文化財指定建築物で楽しむ城下町中津のおひなさま ～大江・村上医家史料館 無料開放～

城下町中津は、第二次世界大戦の空襲から逃れた町で、短冊形のまちなみは江戸時代の絵図そのままです。町には江戸時代、明治、大正、昭和に建てられた古い建築物が残っています。その内 5軒が文化財の指定を受けており、ひな祭りの展示会場となっています。

武家の屋敷、豪商、医家のお座敷や昭和初期のレトロな洋風建築の空間とみやびなお雛様のマッチングをぜひ楽しんでください。

1. 文化財指定の展示会場は5か所

バラエティーに富んだ5つの文化財指定の建築物（有形・史跡）を比較しながら雛巡りをお楽しみください。

福澤諭吉旧居	: 武家屋敷（国史跡）
南部まちなみ交流館（宇野屋跡）	: 豪商の商家（市有形文化財）
村上医家史料館	: 中津藩御典医の屋敷（市史跡）
大江医家史料館	: 中津藩御典医の屋敷（市有形文化財）
中津市歴史民俗資料館	: 昭和初期の図書館（国登録有形文化財）

2. 期間中、大江・村上医家史料館を無料化

通常、入館料大人210円の大江・村上医家史料館をひなまつり期間中（2月25日～3月12日）無料開放します。「解体新書」や九州初期の解剖図、江戸時代の医療道具や診察室・薬局などの医家の建築物をご覧ください。

* 5会場の内、「福澤諭吉旧居・記念館」のみ有料。**他の4会場は無料。**

3. 福澤諭吉が暮らした座敷を開放します

通常は立ち入り禁止の福澤諭吉旧居の座敷をひなまつり期間中開放し、座敷で琴の演奏やお茶会（お茶代200円）をお楽しみいただけます。（旧居・記念館は有料 大人400円）

4. 大江・村上・歴民の各館がひなまつり情報拠点施設となります

大江医家・村上医家、中津市歴史民俗資料館各館では、ひなまつり会場やイベントのご案内場所となります。休憩、トイレ等にご利用ください。

問合先：社会教育課文化財室（担当：高崎）
（TEL：0979-22-1111・内線600）

村上医家史料館(中津市指定史跡)

中津藩医の村上家の屋敷で、江戸時代の建物がそのまま残っています。江戸時代の医者や、藩医の家に伝わるひな人形など、旧家のお座敷をめぐりながら楽しめます。薬瓶がそのまま並んだ薬局も見ごたえがあります。



大江医家史料館(中津市指定有形文化財)

中津藩医の大江家の屋敷で、有名な「解体新書」の実物のほか、世界ではじめて乳がん摘出手術に成功した花岡青洲の資料など医学の貴重な資料が展示されています。土間や受付の小窓など、江戸時代の医家の屋敷が見学でき、古いお雛様をお座敷に展示しています。



「解体新書」



中津市歴史民俗資料館(国登録文化財)

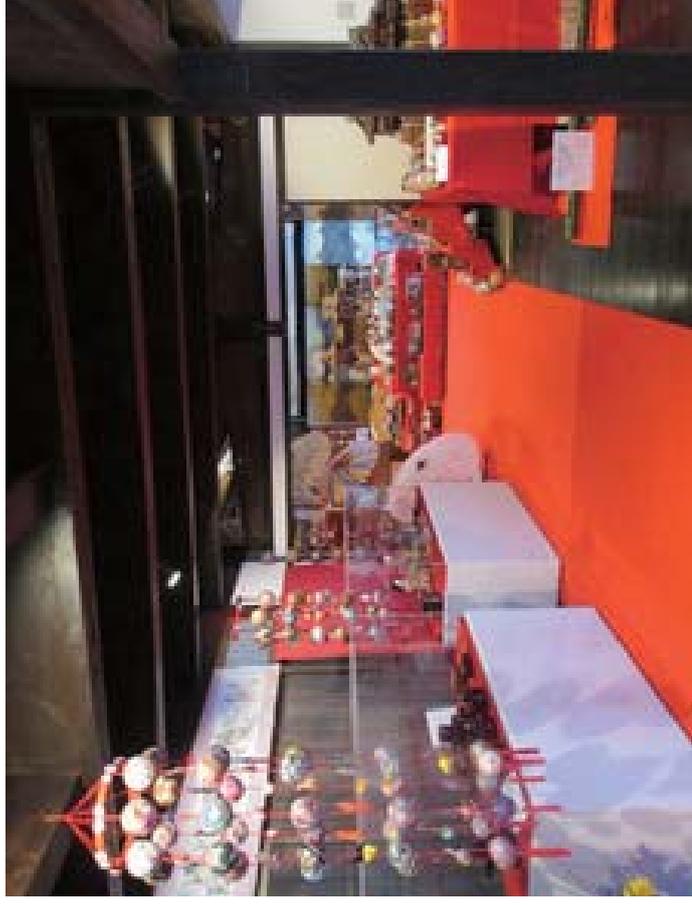
福澤諭吉の高弟、小幡篤次郎の生家跡で、篤次郎の蔵書をもとに造られた旧図書館。昭和初期のレトロな雰囲気たっぷりの洋風木造建築です。江戸時代の押し雛の他、化粧道具や手鏡、櫛など、江戸時代の所蔵品もひな人形と一緒に楽しめます。



南部まちなみ交流館(中津市指定有形文化財)

江戸時代の豪商「宇野屋」跡の商家ならではの広々とした造りで、藩医の屋敷である医家史料館と比較すると違いがわかります。

奥平の姫から拝領したひな人形など、メイン会場としてたくさんさんのひな人形を展示します。



福澤諭吉旧居(国史跡)

福澤諭吉が暮らした幕末の下級武士の屋敷です。諭吉が勉学にはげんだという白壁の土蔵もあります。旧居及び記念館の見学は通常通り有料ですが、

ひなまつりの期間限定で諭吉が暮らした座敷にあがっていただくことができます。

また、座敷で琴の演奏やお茶会も開催します。記念館では福澤家に伝わるひな人形も展示されます。

